

若年者心疾患・生活習慣病 対策協議会の学校保健活動

若年者心疾患・生活習慣病対策協議会

長嶋正實、北村惣一郎、新垣 義夫

愛知県医師会

吉田 貴、稲坂 博

学校心臓検診のあゆみ(1)

年号	学 術
1954年度	大阪(大阪大学公衆衛生教室)で疫学的調査と学校心臓検診始まる
1956年度	京大小児科が研究的に全員心電図検査を行う(Ⅱ,V1誘導)
1958年度	文部省・科研「学童の循環器障害の早期発見とその措置」 (アンケート、X線、聴打診方式を提言)
1959年度	京都、大阪をはじめ各地で学校心臓検診始まる(名古屋市1966年度)
1963年度	日本公衆衛生学会シンポジウム「学童の心臓病集団検診はいかにあるべきか」(大国、高階ほか)
1967年度	厚生省・科研「児童における心疾患診断基準の設定と管理に関する研究—心臓病管理指導区分等」(京大前川ほか)
1968年度	第1回若年者心疾患対策研究会開催(京都)
	東京都大田区 公費による学校心臓検診始まる(選別方式)
1969年度	第1回学童心臓病予防研究会(関東甲信越静)
	第1回九州学童心臓検診研究会
	文部省・科研「学童の突然死の実態と予防に関する研究」
	日本循環器学会心臓リウマチ予防専門委員会発足

学校心臓検診のあゆみ(2)

年号	学 術
1970年度	厚生省・科研「若年者の心疾患早期発見による発症防止ならびに治療の問題に関する研究」(京大高安ほか)
1971年度	足立区 公費による全員心電・心音図による検診始まる
1972年度	第1回北日本学童心臓病予防研究会
1973年度	文部省学校保健法施行規則の改正(心臓検診を義務化)
1975年度	文部省・科研「学校における心臓の健康診断の実施方式および事後措置の基準設定に関する方式」(日大大国ほか)
1977年度	日本学校保健会「心臓疾患委員会」発足
1981年度	第1回若年者心疾患対策全国ブロック大会開催(京都)
1988年度	地方交付税に心臓検診費を積算して国家公費負担の道を開く
1995年度	文部省学校保健法施行規則の改正(小・中・高1年生に心電図記録を義務化)

初期の心臓検診が普及した背景

1. リウマチ性心臓病が多い
2. 学校での突然死が問題となった
……突然死の予防
3. 先天性心疾患の早期発見
……心雑音の正確な診断
4. 不整脈の早期発見
5. 心雑音があっても診断ができない

若年者心疾患(・生活習慣病)対策協議会の目的

会則第2条

若年者(新生児、乳幼児、児童生徒、学生ならびに同年齢層を含む)の心臓病(・生活習慣病)の早期発見、予防ならびに管理指導に関する諸問題を取り上げ、健全な社会人を育成する。(2011年から)

具体的には上記年齢層の心臓病や生活習慣病の検診について、その方法・評価法、結果などの関連する諸問題を医学的に検討する。年1回協議会総会を開催し研究成果を発表し心疾患、生活習慣病に対する正しい広報を行う

若年者心疾患(・生活習慣病)対策協議会の地域

地域

東海・北陸・近畿・中国・四国を中心にした地域で、
愛知県、富山県以西で本州・四国地方

会員

地区医師会会員、学校医、
循環器専門医、生活習慣病専門医
府県市町村教育関係者(指導主事、養護教諭など)、
保健師、検診関係者など

303名

若年者心疾患(・生活習慣病)対策協議会の役員

会長・・・北村惣一郎(国立循環器研究センター名誉総長)

総会会長・・・開催県医師会長

名誉会長**3**名

名誉会員**3**名

副会長 (**2**名)

研究委員長(**8**名)

顧問**15**名(主に府県医師会長)

理事**25**名(専門医や地域で中心的に活動している医師)

日本医師会理事1名を含む

監事**2**名

評議員**94**名(学校医、専門医など)

若年者心疾患・生活習慣病対策協議会の 活動内容(1)

年**1**回の総会開催・・・情報の共有、広報啓発活動

学校保健に関する要望書提出

研究活動(研究委員会)

- ・突然死調査研究委員会
- ・スポーツ心臓研究委員会
- ・心臓手術の適応・術後研究委員会
- ・川崎病対策委員会
- ・心臓検診精度研究委員会
- ・不整脈対策委員会
- ・小児期における生活習慣病予防委員会

若年者心疾患・生活習慣病対策協議会の 活動内容(2)

年**1**回の総会開催

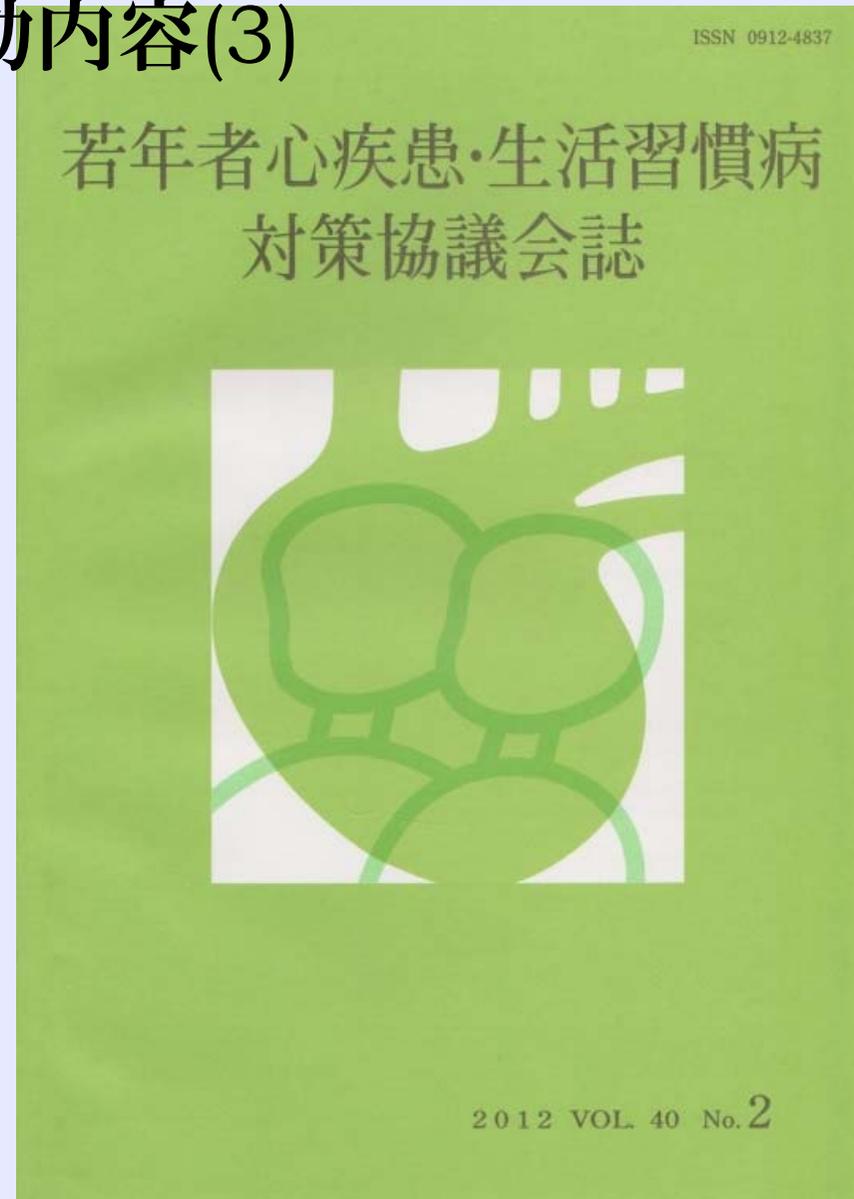
- ①初期は各々の地域で心臓検診の普及、活性化
総会を開催することで地域での検診の質の向上
- ②現在は地域での心臓検診の見直し、改善、情報の
共有、新しい情報や研究成果に関する知識の習得
- ③心臓検診の精度の向上

若年者心疾患・生活習慣病対策協議会の 活動内容(3)

年**2**回の学会誌発刊

①総会記録号

②特集号



若年者心疾患・生活習慣病対策協議会 2012 Vol40, No.1

ワークショップ1 小児メタボと今後の学校健診.....4	
1	学校健診の現状と課題
2	学校健診を介した小児メタボの可能性
3	小児メタボが疑われる児童生徒への支援体制と栄養指導
4	小児メタボの現状と治療
特別講演1 小児期からの生活習慣病予防の意義.....21	
ワークショップ 2 若年者の突然死.....35	
1	若年者の突然死の要因と治療
2	福井市における小学校中学校心臓検診の最近の現状(平成14年以降)
3	福井県におけるAEDの普及活動への取り組み
4	命のバトン 救える命 つながる命のために
特別講演 検診で見逃しやすい重篤な不整脈の診断と治療.....56	
総括.....66	
学術・研究委員会活動.....Suppl 16～	
35	

若年者心疾患・生活習慣病対策協議会 2012 Vol140, No.2

	学校健診の新展開・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
1	学校健診の過去・現在・未来・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
2	学校健診での学校医の役割・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
3	学校における生活習慣病検診の現状と歩むべき方向・・・・・・・・	25
4	岐阜県方式・学校検尿システム マスキングから個別判定・経過観察そして診断・管理の適正化・・・	29
5	学校心臓検診の課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	34

若年者心疾患・生活習慣病対策協議会 2013 Vol41, No.1

ワークショップ 生活習慣病の小児期からと取り組み・・・・・・・・・・・・・・・・・・		7
1	「徳島県小児肥満健康管理システム」	
2	学校保健における生活習慣病予防への取り組みー食に関する指導を通してー	
3	小学校における肥満改善への取り組み	
4	将来の生活習慣病予防のためにー保健師の立場から	
5	徳島県の児童生徒の体格の年次推移ー高度肥満児の半減	
特別講演 子どもの生活習慣病対策の目指すもの・・・・・・・・・・・・・・・・・・		30
一般演題・・・・・・・・・・・・・・・・・・		35
1	救命の連鎖が奏功した校内心肺停止の 2 症例	
2	学校生活で悩む不整脈症例ーこの症例をどう扱うか？	
3	徳島県における学校心電図検診の最近の 10 年間の状況	
4	徳島県における川崎病の 15 年間の状況	
5	指定発言	
教育講演 学校心臓検診に心エコーをどう生かす・・・・・・・・・・・・・・・・・・		56
総括・・・・・・・・・・・・・・・・・・		66
学術・研究委員会活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・		Suppl 13～
49		

若年者心疾患・生活習慣病対策協議会の 活動内容(4)

行政機関への過去の要望書

- ・「脳死・臓器移植法の見直し・**15**歳未満の小児の臓器移植を可能として、患児にも心臓移植を受ける機会を与えられるように法改正」
 - ・・・臓器移植の道が開かれた
- ・「自動体外式除細動器(**AED**)の設置ならびに取扱いの徹底」・・・学校での心肺蘇生法や**AED**の普及

行政機関への現在の要望書

- ・児童生徒の学校心臓検診の精度に関する要望書
- ・生活習慣病の健診に関わる要望書

若年者心疾患対策協議会の問題点

学校心臓検診に
対する慣れ

突然死の
減少

学校関係者
が多忙

学校心臓検診の関心がやや低下

学会開催の費用が負担

協議会の役割終わり??という意見あり

解決すべき問題多し

今後役割は大きくなる??

児童生徒の心臓検診の問題点

- 一次検診、二次以降の検診精度管理
- 一次から二次以降の検診に送る基準
- 学校生活管理指導表の使い方
- 精密検査後の結果の把握や管理
- 学校医の心臓検診への関わり方
- 地域医療機関と地域教育委員会や学校、保護者との連携方法

今後児童生徒の心臓検診の質の向上のため
若年者心疾患・生活習慣病対策協議会は必要

児童生徒の生活習慣病予防の問題点

- 児童生徒の生活習慣病の診断基準
- どこまでの検査が必要か。採血が必要か
- 生活習慣病の検査を学校健診の項目に入れるべきか
- 精密検査後の結果の把握や管理、日常生活の送り方
- 学校生活の指導
- 学校医の生活習慣病検診への関わり方
- 医療機関と教育委員会や学校との連携方法
- 学校での生活習慣病予防の教育、指導
- 国、地域行政機関、本人、家族の関わりかた

今後児童生徒の生活習慣病検診の質の向上のため
若年者心疾患・生活習慣病対策協議会は必要

まとめと提言

- 若年者心疾患（・生活習慣病）対策協議会は発足後 **45**年以上が経過し、種々の学校保健に関する活動を行い、一定の成果を上げてきた。
- 心臓検診に関する関心がやや薄れ、役割は終わりつつあるという意見が無いわけではないが一方で重要性がますます増すと考えられる。
- 学校健診には心臓病や生活習慣病だけでなく腎疾患、アレルギー疾患もあり、学校健診の研究会が必要か。
- 全国的な統一を図るために全国的な組織になることが望ましい。そのためには日本医師会、地区医師会の強力なバックアップを期待したい